

報道関係各位

LPI-J No. 20200302

2020年3月2日

**LPI-Japan、「Linux 技術者認定 LinuC(リナック)」を、クラウド時代のすべての IT 技術者に必須の認定として全面的に見直し、新バージョン「Version 10.0」を発表！**

～ 4月1日リリース（3月2日より試験予約開始）～



オープンテクノロジー技術者認定機関として「Linux 技術者認定 LinuC (リナック)」などを実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン（以下：LPI-Japan、東京都港区、理事長 鈴木 敦夫、<https://lpi.or.jp>）は、このたび、時代が求める技術スキルの変化に対応しクラウド時代に必須の技術を保有するエンジニアの技術力を認定するために、LinuC レベル1とレベル2の出題範囲を全面的に見直し、受験対象層を拡大した新バージョンの「Version 10.0」をリリースすることを発表します。「Version 10.0」は、2020年3月2日より試験予約を開始し、2020年4月1日より日本を含む全世界にて受験可能です。

#### 【出題範囲改定の背景と特長】

現在、多様な機器が IT 化し、クラウドを活用したシステム連携による価値の増大と主要技術のオープンソース化が進展しています。クラウド技術の利用で抽象度が上がることにより基本技術が空洞化するリスクがあり、技術の本質を理解する技術者が今後ますます重要となっています。また、誰もがオープンソースを扱う環境になってきたことで、オープンソースの文化についての理解や、システムの多様化に対応できるシステムアーキテクチャに対する素養も求められています。

このような状況を踏まえ、LPI-Japan は、クラウド時代に欠かせない本質的な技術を保有するエンジニアの技術力を認定するために、LinuC レベル1とレベル2の出題範囲を改定しました。本認定は、技術者のみならず経営や人材育成に携わっている 100 名以上の方々からご意見を頂くとともに、IT 関連のシステム構築や開発、技術指導や執筆など様々な立場で活躍する 50 名以上の Linux 専門家の方々の協力を得て開発されています。「Version 10.0」には次のような特長があります。

- 1) 現場で求められている技術要素に対応
  - ・クラウドを支える仮想化技術領域に拡大
  - ・オープンソースの文化への理解を追加
  - ・システムアーキテクチャの要素を導入
- 2) 受験対象層をすべての IT 技術者に拡大
 

今の IT 技術者に必要な基本技術要素を Linux を通して学べるため、対象を IT インフラ技術者に留まらず、クラウドシステムやアプリケーション開発に携わる IT 技術者にも拡大。

3) 全面的に見直した出題範囲

最新技術への入れ替えや出題構成を見直し、より今の現場に即した出題範囲。出題範囲の記述を詳細化し出題範囲項目毎に使用するコマンドやファイルを明確化。説明文も平易な記述とした。

LPI-Japan では、現場で本当に必要とされるエンジニアの育成を可能とするオープンテクノロジーのキャリアマップ (注1) を策定しており、今回の LinuC レベル 1 とレベル 2 の改定はその基礎部分となります。LinuC レベル 3 も順次改定してまいります。

2018 年 3 月に配信を開始した LinuC は累計の認定者数が延べ 4 万人を突破し、既に多くの企業・団体にて技術者育成のために採用されています。LPI-Japan は Version 10.0 のリリースにより次世代の IT 技術者に必要な認定環境を整備し、オープンテクノロジーを通して本質的技術力を磨き、様々な立場で活躍できる技術者の育成を支援してまいります。

注1) 「オープンテクノロジーのキャリアアップ」とは

LPI-Japan が策定した、技術者のタイプに応じて価値のあるオープンテクノロジーの認定をマップ化しキャリア形成の指針を示したものです。

詳細は、<https://lpi.or.jp/know/#know-anker04> をご確認ください。

**【新バージョンリリース記念 受験生応援キャンペーン】**

Version 10.0 のリリースを記念して、期間限定の受験チケット割引キャンペーンを実施します。

詳細は特設ページをご覧ください。 <https://linuc.org/campaign/202003.html>

**【新バージョン名】**

認定名 (和文) : LinuC レベル 1 バージョン 10.0 または LinuC-1 バージョン 10.0

LinuC レベル 2 バージョン 10.0 または LinuC-2 バージョン 10.0

認定名 (英文) : LinuC Level 1 Version 10.0 または LinuC-1 Version 10.0

LinuC Level 2 Version 10.0 または LinuC-2 Version 10.0

|             |        | 新バージョン (Version 10.0)                          |
|-------------|--------|--|
| 試験予約サイトの表示名 | 101 試験 | 試験番号:101-1000<br>試験名:LinuC-1 101 試験 バージョン 10.0 |
|             | 102 試験 | 試験番号:102-1000<br>試験名:LinuC-1 102 試験 バージョン 10.0 |
|             | 201 試験 | 試験番号:201-1000<br>試験名:LinuC-2 201 試験 バージョン 10.0 |
|             | 202 試験 | 試験番号:202-1000<br>試験名:LinuC-2 202 試験 バージョン 10.0 |

※現行バージョンと Version 10.0 の差分の詳細は、下記をご覧ください。

[https://linuc.org/docs/linuc\\_ver10.pdf](https://linuc.org/docs/linuc_ver10.pdf)

**【Version 10.0 の出題範囲概要】**

|                 | 主題                           |                 | 主題                  |
|-----------------|------------------------------|-----------------|---------------------|
| レベル 1<br>101 試験 | Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用  | レベル 2<br>201 試験 | システムの起動と Linux カーネル |
|                 | ファイル・ディレクトリの操作と管理            |                 | ファイルシステムとストレージ管理    |
|                 | GNU と Unix のコマンド             |                 | ネットワーク構成            |
|                 | リポジトリとパッケージ管理                |                 | システムの保守と運用管理        |
|                 | ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム |                 | 仮想化サーバー             |
| レベル 1<br>102 試験 | シェルおよびスクリプト                  | レベル 2<br>202 試験 | コンテナ                |
|                 | ネットワークの基礎                    |                 | ネットワーククライアント管理      |
|                 | システム管理                       |                 | ドメインネームサーバー         |
|                 | 重要なシステムサービス                  |                 | HTTP サーバーとプロキシサーバー  |
|                 | セキュリティ                       |                 | 電子メールサービス           |
|                 | オープンソースの文化                   |                 | ファイル共有サービス          |
|                 |                              |                 | システムのセキュリティ         |
|                 |                              |                 | システムアーキテクチャ         |

※ Version 10.0 の出題範囲の詳細は、下記をご覧ください。

- ・ レベル 1 101 試験 : <https://linuc.org/linuc1/range/101.html>
- ・ レベル 1 102 試験 : <https://linuc.org/linuc1/range/102.html>
- ・ レベル 2 201 試験 : <https://linuc.org/linuc2/range/201.html>
- ・ レベル 2 202 試験 : <https://linuc.org/linuc2/range/202.html>

**【認定試験概要】**

- ・ URL : <https://linuc.org>
- ・ 受験予約 : <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>
- ・ 受験料 : ¥15,000 (税別) /1 試験 (日本での受験の場合)  
\$150 (税別) /1 試験 (日本以外での受験の場合)
- ・ 受験可能な言語 : 日本語、英語 (英語版は旧バージョンのみ)
- ・ 問題数 : 60 問/1 試験
- ・ 試験時間 : 90 分 (簡単なアンケート含む)
- ・ Version 10.0 がリリースされてから「1 年間」は、旧バージョン(レベル 1:Ver.4.0、レベル 2:Ver.4.5)も受験することができます。この期間は、受験者は、新旧いずれかのバージョンの試験を選択して受験することができます。
- ・ バージョンに関係なく、101 試験と 102 試験に合格すれば、LinuC レベル 1 に認定されます。  
例 : 101 試験は旧バージョン (Ver. 4.0) で合格し、102 試験は Version 10.0 で合格した場合。

**【試験予約サイト】**

LinuC はピアソン VUE より日本を含む全世界にて配信され、日本国外のテストセンターでの受験も可能です。ピアソン VUE の LinuC の試験予約サイトは、下記をご覧ください。

<https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>

●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL : 03-3568-4482、FAX: 03-3568-4483 / E-mail : [press@lpi.or.jp](mailto:press@lpi.or.jp)

---

LPI-Japan について

---

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及とIT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェア、クラウドソフトウェア、および HTML5 のプロフェッショナルのための認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの育成、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 ( <https://lpi.or.jp> )

法人名: 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地: 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 7F

連絡先: TEL: 03-3568-4482、FAX: 03-3568-4483、e-mail: [info@lpi.or.jp](mailto:info@lpi.or.jp)

設立: 2000 年(平成 12 年)7 月 28 日

ミッション: オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの育成と  
価値向上、活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容: IT プロフェッショナルの認定活動を通じた技術者育成と OSS/HTML5 等の  
オープンテクノロジーの普及・推進

理事長: 鈴木 敦夫

理事: 菅沼 公夫 日本電気株式会社

中野 正彦 サイバートラスト株式会社

橋本 尚 株式会社日立製作所

松下 文男 富士通株式会社

丸茂 晴晃

監事: 寺本 振透 九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー:

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援する企業です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan アカデミック認定校:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミック認定校」が、「LinuC」に対応した教育を提供しています。

<https://lpi.or.jp/school/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー：

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS マーケットの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan 認定教材 (LATM)：

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、「LinuC」の出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

<https://lpi.or.jp/lpic1/book.shtml>

<https://lpi.or.jp/lpic2/book.shtml>